

単元名 ルーブリックを活用した相互批評を通して、論理的な文章を書こう

1. 単元の目標

- ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕（1）エ
- ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A 書くこと（1）ウ
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

2. 本単元における言語活動

文章の論理性を測るためのルーブリックを作成し、論理的な文章（意見文）を書く。

〔思考力、判断力、表現力等〕A 書くこと（2）ウ

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の種類に基づく効果的な段落の構造など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、ルーブリックによる評価を活用して効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	ルーブリックの作成を通して、粘り強く、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。

4. 指導と評価の計画（全6単位時間）

次	学習活動	評価の観点	評価方法
1	・いくつかの短い文章の比較分析を通して、論理的な文章の特徴を確認する	知識・技能	記述の点検
2 本 時	・文章の論理性を測るためのルーブリックを作成し、前時の例文の論理性を確認する ・例文の評価結果を比較しながら、個々が作成したルーブリックを交流・改善する	思考・判断・表現	記述の分析

3	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマに関する資料（論文）やデータを複数集め、自分の意見を組み立てる 自分の意見を短い論文（意見文）にまとめる 他の生徒の意見文を読み、個々が作成したループリックを用いて相互批評を行う 	主体的に学習に取り組む態度	記述の点検
---	---	---------------	-------

5. 単元の流れ

次	学習活動	指導の留意点	評価方法
1	<p>いくつかの短い文章の比較分析を通して、論理的な文章の特徴を確認する。</p> <p>①複数の例文を各自で「伝わりやすい」順に並べ、その理由をまとめる</p> <p>②順位付けの結果とその理由をグループ内で交流する</p> <p>③活動のリフレクションを記入して提出する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「伝わりやすいと思った理由」を考えさせ、その伝わりやすさの要素（論理性）に気づかせる 生徒の視点が「簡単な言葉を用いている」といった語彙レベルに向かわないように留意する。 意見交流を通して生徒が論理的文章の特徴をつかんでいるかをリフレクションシートで確認する 	<p>[知識・技能]</p> <p>リフレクションシート</p> <p>記述の点検</p>
2 本時	<p>文章の論理性を測るためのループリックを作成し、前時の例文の論理性を確認する。</p> <p>例文の評価結果を比較しながら、個々が作成したループリックを交流・改善する。</p> <p>①お互いのループリックと評価結果を閲覧する</p> <p>②グループ内で意見交流を行う</p> <p>③他者の意見を踏まえたループリックの改善点・改善案をリフレクションシートに記入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の内容を踏まえた「伝わりやすさの要素」を測るループリックを作成する 実際に例文を評価して確認する ロイロノートでお互いのループリックを閲覧して、観点ごとの評価の基準や改善点などを交流する 改善の過程が見えるように記録する 	<p>[思考・判断・表現]</p> <p>ループリック</p> <p>記述の分析</p>

次	学習活動	指導の留意点	評価方法
3	与えられたテーマに関する資料（論文）やデータを複数集め、自分の意見を組み立てる。 ①見学旅行の行き先変更を提案する意見文を作成する ②プレゼンテーション先（教育委員会・保護者・生徒など）を複数設定する	・プレゼンの相手によって主に主張すべき内容が変わることに注意させる ・組み立てた構成案はワークシートに記録する	[主体的に学習に取り組む態度] 意見文 記述の点検
	自分の意見を短い意見文にまとめる。	・マイルーブリックを使って自分の意見文の自己評価をしながら、論理性が高まるよう工夫する	
	他の生徒の意見文を読み、個々が作成したルーブリックを用いて相互批評を行う。 ①ロイロノートでお互いの意見文を閲覧・交流する ②他者評価を踏まえて意見文の改善を行う	・ルーブリックの交流を行った時とは違うグループで交流する	

6. 評価の実際（本時の学習評価）

文章の論理性を測るマイルーブリックの作成			
観点 評価	(1)観点の設定	(2)評価 B の設定	(3)評価基準 A～C の設定
A	観点を三つ設定できている。	全ての観点において、効果的な文章の構成や論理の展開を具体的に工夫している。	全ての観点において、評価基準 A～C の違いが明確である。
B	観点を二つ設定できている。	効果的な文章の構成や論理の展開を具体的に工夫している。	評価基準 A～C の違いが明確である。
C	観点を一つ以下しか設定できていない。	効果的な文章の構成や論理の展開を具体的に工夫していない。	量的な評価基準にとどまり、論理の質を見る評価基準が設定できていない。